

所報 あきた

所報あきた 143号

令和8年5月21日発行

発行所 曹洞宗秋田県宗務所

発行責任者 袴田俊英

〒010-0812 秋田市泉三嶽根15-18

T E L (018)868-6871

F A X (018)868-6872

<http://soto-akita.com>

info@soto-akita.com

題字 能代市倫勝寺 山田晃一
写真 想花翁



-
- 令和8年度秋田県宗務所事業計画
 - 令和8年度秋田県宗務所歳入歳出予算
 - 他
-



写経・坐禅・
仏教マメ知識や法話
などにふれてみよう

普段いけない
お寺へ参拝

仏教講座

第1回 令和8年 7月6日(月)

時間／10時半～12時 … 写経
13時 ～ 16時 … 講座
会場／曹洞宗秋田県宗務所・禅センター

第2回 9月 1日(火)

第3回 11月30日(月)

申し込み随時 受講料：初回無料
第2回・第3回500円



野外研修

令和8年 10月5日(月)

令和8年度公開講座 日日是好日

玄妙な歌詞と
調べを一緒に



梅花流講習

令和8年

4月 3日(金) 5月 1日(金)

6月 15日(月) 7月 3日(金)

9月 4日(金) 10月 2日(金)

11月 6日(金) 12月 4日(金)

令和9年

2月 5日(金) 3月 5日(金)

講習時間／10時半～15時

会場／曹洞宗秋田県宗務所・禅センター

申し込み随時 受講料無料



お話・御詠歌・ご供養
様々体験

禅を聞く会

令和8年 11月25日(水)

会場／秋田キャッスルホテル
4階 放光の間

講師／大阪府
浄土真宗如来寺御住職
釈 徹宗 老師

◇問い合わせ

曹洞宗秋田県宗務所・禅センター

秋田市泉三嶽根15-18 TEL(018)868-6871

ホームページ <https://soto-akita.com/>

E-mail info@soto-akita.com

執務時間 平日 10:00 ～ 16:00 その他不定休日有



本年度事業概要と宗門の動き

秋田県宗務所 所長 袴田 俊英

年度末から新年度当初にかけて、宗務所及び宗門の重要な会議が立て続けに開催され、令和八年度事業がスタートいたしました。報告のみのご挨拶となりますがご容赦ください。

去る三月二十五日、予算に関する通常所会を開催し、すべての案件が承認されました。新年度総予算額は五千四百五十万円となり、昨年度当初予算に比して五十万円の減となります。要因としては事業の開催形式変更による諸収入の減少が挙げられますが、教師人数そのものの減少による賦課金教師割額減も若干の要因となっております。

事業計画につきましては、梅花流秋田県奉詠大会は九月十七日秋田キャッスルホテルにおいて行います。現職研修は十月二十二日、歓喜寺様を会場に、駒澤大学で教鞭をとられていた佐藤秀孝先生と、近代仏教史家の工藤榮勝先生を講師にお招きして実施します。十一月十八日～二十日まで

の二泊三日、本山研修を行います。本年度は總持寺様、了つて七十二年に一度の御開帳が行われる豊川閣妙嚴寺様に拝登いたします。同月二十五日、禅センター設立集会を開催し、公開講座としての「禅を聞く会」の講師は、各種メディアで活躍されている浄土真宗如来寺(大阪)住職・釈徹宗師にご来秋頂きます。各事業ともに多くのご参加をお願いいたします。

また、所会に先立つ三月五・六日の両日、宗務庁において実務担当者会議が開かれました。特に重要と思われる事項をご報告いたします。

今年も県北部を中心にして、雪害が多発いたしておりますが、近年の自然災害の増加により災害見舞金制度の拠出金が増えられます。基本拠出金二千五百円は変わりませんが、建物共済に当たる付加拠出金は一口七百元から四千百円に大幅に引き上げられます。またこの金額は固定されたものではなく、毎年見直されていくこととなります。

した。

ソートービルについては、建て替えに關しましては決定されましたが、どのような形態で再建するかは検討中とのこと。伴って、東京グランドホテルは令和九年六月三十日をもって営業終了となります。宗務庁の移転場所は鶴見大学会館を仮移転先候補として六月宗議会上程となります。

最後に宗務所婦人会についてご報告いたします。二月十六日宗務所において宗務所婦人会臨時総会が開催されました。「今後の婦人会の運営について」が議題とされ、会員の減少が止まらず会の運営が困難となつている状況にあり、今後の在り方について話し合われました。詳細はお手元に届いている「婦人会報」に掲載されているとおりであります。今後の会員増も望めず、全国曹洞宗婦人会からの退会という決議となりました。大変残念ではありますが、現状をご理解いただきますようお願いいたします。

アメリカ・イスラエルとイランの「戦争」では周辺国も含め多くの犠牲者が出ています。さらに世界的な石油不足が起こり、これにより物価高が止まらず困窮する人々が急増するともいわれています。宗務所も大きな影響を受けることになりそうな状況です。早期の戦争終結を望むばかりであります。

令和8年度 曹洞宗秋田県宗務所事業計画

令和8年		事業	開催場所	備考
4月	22日	寺族会総会	宗務所	
5月	21日	布教委員会・布教協議会	宗務所	
		所報第143号発行		予算報告 他
6月	2～6日	梅花特派巡回	開催希望教区	特派師範3名
	8～13日	特派布教巡回	管内18教場	特派布教師3名
	24日	監査会	宗務所	
	30日	護持会総会	宗務所	
7月	22日	通常所会	宗務所	決算審議 他
		禪の集い	管内寺院	
8月	12～21日	宗務所休務		盆休み
9月	17日	梅花流全県大会	キャッスルホテル	
		所報第144号発行		決算報告 他
10月	22日	現職研修会 元駒澤大学仏教学部教授 新潟少林寺住職 佐藤秀孝先生 近代仏教史家 工藤英勝先生 宗務庁派遣講師（未定）	歓喜寺様	
	28日	梅花検定会（全県合同）	宗務所	四級師範・三級詠範・ 二級教範まで受検可
11月	13日	宗務所寺族集会・研修会	宗務所	
	18～20日	本山研修会	總持寺	豊川稲荷
	25日	禪を聞く会（講演・法要・他） 講師 浄土真宗如来寺（大阪） 住職 釈 徹宗 老師 禪センター設立集会	キャッスルホテル	禪を聞く会 終わって 設立集会 宗侶寺族表彰式典
12月	10日	臨時所会	宗務所	
	28日～1月8日	宗務所休務		
令和9年				
1月	28日	宗務所梅花講役員会	宗務所	
		所報第145号発行		
2月	26日午前	宗務所梅花講講長会	宗務所	
	26日午後	諮問委員会・災害対策協議会	宗務所	
3月	26日	通常所会	宗務所	予算審議 他

曹洞宗秋田県宗務所・禅センター 令和8年度 事業日程表

【禅センター布教部・研修部・梅花部】

NO.	令和	月 日	開始時間	担当	事業名・備考
1	8年	4月 3日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
2		5月 1日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
3		6月15日(月)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
4		6月18日(木)	10時30分	梅花部	講師等研修会
5		7月 3日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
6		7月 6日(月)	10時30分 13時30分	布教部	写経会 仏教講座①
7		7月16日(木)	13時00分	研修部	研修会①
8		9月 1日(火)	10時30分 13時00分	布教部	写経会 仏教講座②
9		9月 4日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
10		10月 2日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
11		10月 5日(月)	9時00分	布教部	仏教講座・野外研修
12		11月 6日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
13		11月25日(水)	13時00分		禅を聞く会(設立集会併催)
14		11月30日(月)	10時30分 13時00分	布教部	写経会 仏教講座③
15		12月 4日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
16	9年	2月 3日(水)	13時00分	研修部	研修会②
17		2月 5日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)
18		3月 5日(金)	10時30分	梅花部	梅花流講習会(～15時)

《大本山總持寺本山研修会と豊川稲荷七十二年ぶりの御開帳・館山寺温泉の旅》

1. 期日 令和8年11月18～20日 2. 申込締切 令和8年8月1日
3. 会費 118,000円(秋田空港発着)120,000円(青森空港発着)

月日	行 程 (バス＝＝＝)	食事
11 ／ 18 (水)	※大館北秋田地区の方は秋田空港までバス利用 9:35 予定時刻 10:45 12:15/13:15 13:40/15:00 秋田空港－ANA404→羽田空港＝首都高速＝ 久里浜 ＝ 軍港めぐり ＝子安 IC 16:30 頃 ＝總持寺(本山研修会第56回開講式)	× 昼 夕
11 ／ 19 (木)	8:30 頃 9:30 10:15/10:30 總持寺(閉講式)＝ 子安 IC ＝横浜町田 IC ＝ 足柄 SA 12:50/16:00 17:30 頃 ＝ 豊川稲荷 ＝ 三ヶ日 IC ＝ 館山温泉泊	朝 昼 夕
11 ／ 20 (金)	8:30 館山寺＝浜松西 IC＝静岡 IC 16:40 予定時刻 17:55 9:50/11:00 12:30/13:30 羽田空港－ANA723→大館能代空港 ＝日本平久野山東照宮＝ 沼津 IC ＝ 17:50 予定時刻 19:00 羽田空港－ANA407→秋田空港	朝 昼 ×

令和8年度曹洞宗秋田県宗務所歳入歳出予算書

(単位：円)

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減
歳入合計	54,984,886	54,500,000	△ 484,886
歳出合計	54,984,886	54,500,000	△ 484,886
差引残額	0	0	0

歳入の部

(単位：円)

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 賦 課 金	40,786,800	40,776,800	△ 10,000	
1 寺 格 割	1,844,000	1,844,000	0	格地@ 10,000 × 24 法地@ 5,000 × 318 准法地@ 2,000 × 7 (全寺院数349ヶ寺)
2 級 階 割	35,484,800	35,484,800	0	443,560 点 × 80 円 (前年度県内寺院級階点数の合計)
3 教 師 割	3,458,000	3,448,000	△ 10,000	大教師@ 42,000 × 1 名 権大教師@ 30,000 × 62 名 正教師@ 6,000 × 154 名 一等教師@ 3,000 × 122 名 二等教師@ 2,000 × 128 名 (R8/1/31 現在)
2 手 数 料	2,000,000	2,000,000	0	
1 手 数 料	2,000,000	2,000,000	0	各申請手数料 宗務所義財 梅花義財
3 補 助 金	900,000	900,000	0	
1 補 助 金	900,000	900,000	0	本庁事業補助 事務補助 徒弟研修会補助 梅花補助 教化補助 現職・寺族研修会補助 他
4 諸 収 入	3,100,000	2,000,000	△ 1,100,000	
1 諸 収 入	3,100,000	2,000,000	△ 1,100,000	現職研修会受講料@ 5,000 × 150 名 現職研修昼食代@ 1,500 × 80 名 梅花検定料@ 3,000 × 30 名 県梅花大会参加料@ 3,000 × 300 名 仏教講座参加料 預貯金受取利息 他
5 繰 越 金	8,198,086	8,823,200	625,114	
1 繰 越 金	8,198,086	8,823,200	625,114	前年度繰越金 (見込み額)
歳入合計	54,984,886	54,500,000	△ 484,886	

歳出の部

(単位：円)

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1 人 件 費	18,040,000	17,540,000	△ 500,000	6名×12ヶ月×@ 70,000
1 役職員手当	5,040,000	5,040,000	0	2名×12ヶ月×@ 70,000
2 書記手当	1,680,000	1,680,000	0	
3 備 人 費	200,000	200,000	0	
4 旅 費	4,000,000	3,500,000	△ 500,000	宗務庁・管区・教化センター各事業 各種講演会 全国梅花大会 本山研修会 他 所長 8,000 副所長 4,000 教化 3,000 庶務 7,000 梅花 6,000 人権 8,000 佐々木書記 7,000 高橋書記 7,000
5 費用弁償	6,000,000	6,000,000	0	
6 期末手当	1,120,000	1,120,000	0	8名×2×@ 70,000
2 事 務 費	4,700,000	4,700,000	0	
1 備 品 費	500,000	500,000	0	書籍 事務機器更新他
2 通 信 費	1,200,000	1,200,000	0	電話料 郵便料 配送料 他
3 印 刷 費	400,000	400,000	0	封筒 賞状
4 消耗品費	500,000	500,000	0	雑貨 事務用品 他
5 リース料	1,000,000	1,000,000	0	AED コピー機 電話機 OA 機器 インターネット利用料 他
6 広 報 費	1,100,000	1,100,000	0	宗務所所報 年3回発行
3 管 理 費	2,900,000	2,900,000	0	
1 維 持 費	800,000	800,000	0	保険料 清掃費 警備保障 他
2 地 代	300,000	300,000	0	天徳寺様借地代
3 営 繕 費	800,000	800,000	0	修繕費 他
4 光 熱 費	1,000,000	1,000,000	0	電気・ガス・水道・灯油 他
4 会 議 費	1,300,000	1,700,000	400,000	
1 所 会	1,100,000	1,500,000	400,000	通常所会 2回・臨時所会 1回
2 委 員 会	200,000	200,000	0	監査会 1回 諮問委員会・災害対策協議会 1回
5 事 業 費	10,550,000	9,750,000	△ 800,000	
1 事 業 費	3,000,000	3,000,000	0	現職研修 1,000,000 本山研修 400,000 徒弟研修会 200,000 禅を聞く会・設立集会 1,400,000 他
2 布教伝道費	1,000,000	1,000,000	0	布教特派事業（教場補助他 650,000） 宗務所布教師日当@ 5,000 × 30回 管内教場補助@ 5,000 × 30回 教場 他
3 梅 花 費	5,300,000	4,500,000	△ 800,000	梅花特派巡回事業（教場補助他 650,000） 県梅花大会 2,500,000 役員会・講長会 300,000 検定会 300,000 師範・詠範の会補助 700,000 師範・詠範の会一泊研修会補助 100,000 梅花養成所 200,000 他

項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
	4 教 化 費	650,000	650,000	0	布教委員会・布教協議会(年1回) 各種研修会 他
	5 慰 問 費	100,000	100,000	0	住職永年勤続50年・60年祝膳料 他
	6 人権擁護 推進費	500,000	500,000	0	全国人権研修会 書籍 資料 他
6	禅センター事業費	1,700,000	1,700,000	0	
	1 会 議 費	200,000	200,000	0	各会議費 各委員会費
	2 布教部費	400,000	400,000	0	仏教講座 写経会
	3 研修部費	300,000	300,000	0	各種研修会
	4 梅花部費	450,000	450,000	0	梅花流講習会
	5 運 用 費	350,000	350,000	0	備品 禅を聞く会 他
7	補 助 費	6,637,680	7,336,680	699,000	
	1 事務補助	4,078,680	4,077,680	△ 1,000	所費の10% 各教区へ
	2 事業補助	349,000	349,000	0	教区主催研修会・寺族研修会補助金
	3 所護持会補助	0	700,000	700,000	宗務所護持会補助金
	4 禅の集い	500,000	500,000	0	教区寺院開催補助金
	5 教化団補助	1,710,000	1,710,000	0	保護司会 200,000 秋曹青 500,000 寺族会 350,000 婦人会 400,000 布教師の会 200,000 教誨師 30,000 × 2 名
8	表 彰 費	200,000	200,000	0	
	1 表 彰 費	200,000	200,000	0	住職勤続表彰 寺族表彰
9	慶 弔 費	2,500,000	2,500,000	0	
	1 慶 弔 費	400,000	400,000	0	結制・落慶・本葬 他
	2 本山慶弔費	100,000	100,000	0	両本山慶弔会 他
	3 弔 慰 金	2,000,000	2,000,000	0	管内寺院住職・東堂・副住職 100,000 寺族 50,000
10	負 担 金	540,950	540,950	0	
	1 全国所長会	157,050	157,050	0	349ヶ寺×@ 450 (全国所長会災害援護金 349ヶ寺×@ 100を含む)
	2 布教助成費	209,400	209,400	0	349ヶ寺×@ 600
	3 管 区 費	174,500	174,500	0	349ヶ寺×@ 500
11	交 際 費	400,000	400,000	0	
	1 交 際 費	400,000	400,000	0	
12	食 糧 費	1,300,000	1,300,000	0	
	1 所会食糧費	700,000	700,000	0	通常所会 2 回
	2 委員会食糧費	50,000	50,000	0	監査会 1 回 諮問委員会・災害対策協議会 1 回
	3 所内食糧費	550,000	550,000	0	

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
13 選挙費	150,000	150,000	0	
1 副貫首	50,000	50,000	0	
2 宗務所長	50,000	50,000	0	
3 宗会議員	50,000	50,000	0	
14 雑費	150,000	150,000	0	
1 雑費	150,000	150,000	0	町内会費 新聞購読料 置き薬 他
15 予備費	3,916,256	3,632,370	△ 283,886	
1 災害見舞金	2,000,000	2,000,000	0	寺院火災見舞金 1ヶ寺分
2 記念品代	560,000	560,000	0	役職員退任記念品代 560,000 (224万円を4年間分割で積立計上)
3 基本金繰出金	1,000,000	1,000,000	0	
4 予備費	356,256	72,370	△ 283,886	
歳出合計	54,984,886	54,500,000	△ 484,886	

令和8年度宗務所基本金積立会計について

(将来の宗務所改築のための積立)

令和7年度 基本金積立会計

積立累積金	31,564,676	
一般会計繰入金	1,000,000	
利 息	34,680	0.125%
計	32,599,356	

- 令和7年度分は、上記のように積み立てしております。

令和8年度 基本金積立会計案

積立累積金	32,599,356	
一般会計繰入金	1,000,000	
利 息	73,348	0.225%
計	33,672,704	

- 令和8年度の予算案には1,000,000で計上しています。
○ 令和7年度の歳入歳出決算時の剰余金処分の状況で繰入金を増額する場合もございます。

特別寄稿

廬山探訪之記

陶淵明「飲酒」に曰く

采菊東籬下 菊を采る東籬の下

悠然見南山 悠然として南山を見る

淵明が官を辞し、故郷の柴桑（九江の古名）に隠棲して毎日仰ぎ見た南山とは廬山のことである。

「奇秀天下に甲たり」とは廬山を讃する言葉であるが、江西省九江市の南に位置するこの名峰は、泰山や峨眉山、華山などと共に中国屈指の霊山に数えられる。

古来、淵明、李白、白居易（白楽天）、蘇軾（蘇東坡）等々、名のある詩人で廬山を称えなかった者は皆無といつてよいが、北西麓にある東晋の慧遠によって創建された東林寺は中国浄土宗の発祥寺院とされるし、東南麓の白鹿洞書院では朱熹や王陽明が講義をして幾多の優秀な儒者を輩出し、更に山中には多くの道観（道教寺院）が点在する。

つまり廬山は、信仰と文学が融合した中国文化の象徴といえる山であり、それを如実に表したのが、禅画の画題に好まれる「虎溪三笑」である。

慧遠は東林寺の下を流れている虎溪を越えて俗界には出ないという誓いを立てていたが、ある時、道士の陸修静と淵明が慧

第十八教区 玉林寺住職 桑 名 秀 明

遠を訪ねて歓談した後、慧遠は二人を見送りながら更に歓談。いつの間にか越えないと誓っていた虎溪に掛かる橋を渡ってしまい、これに気付いた三人が顔を見合わせて大笑いした。

この話は、仏教の慧遠、道教の修静、文学の淵明（淵明は役人であったので儒者の代表とも目された）という廬山に住んだ斯界の三巨人が親和することで、廬山の多面に渡る融合性を示している。

（但しこの「虎溪三笑」は、三人の生年に隔たりがあるため、後年の創作とされる）

私が廬山に関心を持ったのは、修士論文のテーマを釈道安にしてからである。

道安は、亀茲国からの渡来僧であり北朝の後趙の君主石勒、石虎に神通力をもって助力した佛図澄の弟子で、学識衆に優れ、三国から南北朝にかけての動乱期に散乱した漢訳經典を整理して中国史上初の総合的經典目録である「綜理衆経目録（道安録）」を編纂したり、戒律を制定して教団の運営を円滑にせしめた。

慧遠（三三四―四一六）は道安の一番弟子で、姓は賈氏。雁門郡楼煩県（現山西省内）の人である。

師の道安をして「仏法の真理を後世まで伝えることができるのは慧遠である」と言わしめたほどの逸材であり、人生の後半を廬山で過ごした。

前述のように東林寺を建立し、白蓮社を結成して多くの僧侶や謝靈運などの文人へ阿弥陀如来の加護により極楽往生ができると説いたため、中国浄土宗の初祖といわれる。

また「沙門不敬王者論」を著して仏法が王権に勝ることを説き、亀茲国から拉致されて涼州、更に長安で実質上軟禁されていた鳩摩羅什と頻繁に文通しながら大乘仏教の真理を吸収して格義仏教からの脱却を図った。

廬山の麓の九江は、古来揚子江に育まれた水産物と農産物が集積する豊かな都市である。

ここは白居易が都の顯官から閑職の司馬として左遷された地で、私が好きな「琵琶行」の舞台であり、やはり白居易の詩に登場し、清少納言が「枕草子」の二百九十九段で引用した「香爐峰」は廬山の一峰である。

また、「水滸伝」で主人公の宋江が流刑に処せられた時、豊かな土地へ流謫となるよう父親が賄賂を使い、流された先が九江であった。

私が修士論文のフィールドワークの一環として廬山を一人訪ねたのは、今から四十年前も前のこと。

大正十年に廬山を訪れ、駕籠に乗ったり歩かされたりして、ようよう山頂の保養地である牯嶺鎮に至った芥川龍之介は、「輕井沢の場末よりひどい」と記している。

無論、私は駕籠に乗って、などということにはなかったが、牯嶺鎮は、やはり鄙びた感じは否めなかった。

しかし、廬山の各峰から望む揚子江や湖沼が多い江西の田園風景は例えようもなく美しく、「風光明媚」という言葉は、こ

の風景の為にあるのではないかと思った。

泰山を旅した時、神秘の泰山には霧や雲が似合っていた。

蘇軾は「廬山は煙雨」と詠んだという。

煙雨とは趣のある言葉であるが、煙雨ではあの風景が生きないのではないだろうか。

揚子江と無数にある湖沼からの水分によって、廬山周辺は多湿で雨や霧が多く、春から夏にかけて山容がはつきり見えることは稀だそうであるが、六月に訪れたのに快晴に恵まれた私は幸運であった。

牯嶺鎮は戦前に上海や武漢に居留していた外国人たちの避暑地として賑わったが、私が訪れた時には外国人や共産党の高級幹部の往時の別荘がまだ残っていて、一九五九年に当時の国防部長の彭徳懷が失脚し文革のきっかけにもなった、いわゆる廬山会議の議場も大切に保存されていた。

鄙めいた感を禁じえなかった牯嶺鎮ではあるが、名物の田鶏（食用蛙）やスッポンは美味で、芥川は田鶏もスッポンも食べなかったのではないかと思った。

夕食後にホテルの服務員につれていってもらって観た、夕陽が豊饒な江西の平野と幾多の湖沼を赤く染めながら地平線に沈みゆく光景は今でも忘れられない。

質素なホテルに一泊の後、山内を観光。最高峰一四七四メートルの廬山は多くの峰に分かれ、至る所に名所旧蹟がある。

盛時には三百をこえる仏寺道観が山中に点在したといい、既に殷周の時代から神仙が住む地とされ、黄帝がここに住んだという伝説から山天子都の異名もある。

朱子学の祖朱熹が講義した白鹿洞書院、「邯鄲の夢枕」に登場する呂洞濱が修行して仙人になったとされる仙人洞等々、私にはいずれも有意義な見学であった。

東林寺は東晋の孝武帝の太元六（三八一）年、慧遠によって創建されたのであるが、失意のうちに各地を放浪した孟浩然は、この東林寺の鐘を聴きながら世の無常に涙したという。

私が拝登した時、浄土宗発祥の寺院らしく、山門には「南無阿弥陀佛」の六文字があった。

しかし、その山門も境内の諸殿も文革のためかだいぶ破壊されていて、唐代には三〇〇もの伽藍があつて渡日前の鑑真も訪れたというが、影堂に刻まれた慧遠の肖像と神運宝殿が往時を偲ばせるのみで、莫寂とした感があつた。

近くに慧遠の墓があつたので参拝すると、八十を越したと思われる老僧が一人でひっそりと墓守をしていた。

私が幾ばくかの紙幣を差し出すと、合掌して受け散ってくれたが、その顔には深い皺が刻まれていた。

もしかしたら辛亥革命以前に生を受けていたかもしれないあの老僧は、戦前戦後の動乱を、そして文革の受難の時代を、どう生きてきたのだろう。

老僧はお茶を飲むようしきりに勧めてくれたが、チャーターした車の運転手氏が出発を促すので、せっかくの好意を受けないでしまった。

古びた東林寺。そして慧遠の墓の傍にポツンと一つ立っている慧遠と同じ道安門下の慧永が建立した、西林寺の唯一の遺物である六角七層の塔。

これらの風景を眺めていたら、「東林精舎近く 日暮れ空しく鐘を聴く」と孟浩然の詠んだ詩情がよみがえってくるようであり、夕暮れ時分に東林寺を訪なわなかったことを、私は悔いたのであった。

エピソード

数年前に廬山を再訪した時、牯嶺鎮は中国人の観光客がいっぱいで、新しく建てられたホテルや飲食店は外観も内装も、それこそ場末のキャバレーのように飾り立てられ、鎮そのものが安っぽいテーマパークにでもなったようで幻滅してしまいました。

荒れていた東林寺も見事に再建されて見まごうばかりでしたが、私には素朴なあの老僧が迎えてくれた、当時の姿のほうが良いように思われました。

しかし、風光明媚な廬山は昔と変わらずに私を迎え入れてくれました。いつか機会があつて、皆さんと廬山を訪ねることができましたら幸甚です。

合掌



事業報告（宗務所だより）

一月二十七日

梅花流役員会

参加 九名

二月二日

研修部研修会

参加 十五名

『法相二巻鈔を読む』②

講師 長野県長國寺住職

柴田 康裕 老師



令和八年度も継続の予定です。
（禅センター事業日程表参照）

二月十六日

婦人会臨時総会



「全国婦人会からの退会」が賛成多数で承認されました。これまでの婦人会のご活躍・宗務所へのご支援に対して深く感謝を申し上げます。

二月十八日

諮問委員会・災害対策委員会

三月二日

梅花流講長会

参加 二十名

三月五日

第七期梅花流

指導者養成所開所式

三月二十五日

通常所会（予算）



会議の前に被差別戒名物故者諸精霊追善法要を修行し、本年一月十七日に遷化された齋藤昭道前所長に黙祷を捧げ、所会議事に進みました。令和八年度事業計画・歳入歳出予算

に関して、また十五教区様より要望

がありました五教区様との一部寺院様の教区分合に関する件、全ての案件のご承認いただきました。

四月六日

第八期梅花流

指導者養成所開所式

四月二十二日

婦人会総会・研修会

参加 六十九名

令和七年度事業報告・同収支決算報告・令和八年度事業計画・同収支予算、満場一致にて承認されました。





研修会は、「禅ZEN布教の展開」
（寺族と共に）と題し、富山県最勝
寺住職谷内良徹老師よりご講演をし
ていただきました。



寺族会新役員の皆さん

役員改選は、新会長に第十三教区
龍門寺寺族杉山禎さんが選出され、
これも満場一致で承認されました。

トピックス

◎令和八年春の叙勲

瑞宝双光章

九教区 梅林寺住職

木村 高寛 老師

三教区 蔵立寺東堂

伊藤 彦舟 老師

受章おめでとうございます。法体
堅固にて更なるご活躍をお祈り致し
ます。

.....

◎窃盗事件にご注意を

前号でもお伝えしましたが、四月
中には湯沢市で六件、にかほ市で三
件、潟上市・井川町で各一件の宗門
寺院への侵入、窃盗事案が報告され
ております。

侵入被害や窃盗被害が発生、また
は疑われる場合は警察への連絡・相
談を第一に、可能であれば宗務所へ
の情報提供をお願い致します。

この情報は必要に応じて、寺院ご
住職はもとより、山内関係者、教区、
近隣の御寺院とも情報共有を頂きま
して、十分にお気をつけいただきた
いと思います。

謹んで弔意を表します

教区	寺番	寺院名	故人名	年齢
一〇	二八九	耕田寺	副住 佐々木龍元	三九
九	二七三	楞嚴院	東堂 小西 玄晃	八一
三	三四三	松林寺	住職 高橋 溪林	九三
一八	三〇五	宗福寺	東堂 薦谷 達元	八九
八	二二一	常光院	住職 齋藤 昭道	六六
八	二二一	満福寺	東堂 堀井 英俊	七七
十三	三二	大龍寺	東堂 三浦 昭翁	八六
一四	一二二	龍雲寺	寺族 植木 治	九六
五	一三五	永嚴寺	寺族 朽木 岑子	九〇
七	六七	徳昌寺	寺族 佐々木ケイ	百
八	二二五	大蘭寺	寺族 森澤 温子	六八
七	二四四	寶泉寺	寺族 工藤 喜江	八八
一〇	二九七	福嚴寺	寺族 栗谷 信子	七五
一	九	光明寺	寺族 石田 道子	七八
九	二八三	自福寺	寺族 小西やす子	七六
一	六	妙覚寺	寺族 眞崎伊津子	七一
一	一一	玄心寺	寺族 前澤 和子	九〇
十三	三七	福昌寺	寺族 村上 京子	九六

年間行事予定

令和8年度(2026)

月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
4	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
APR		寺族会	梅花講習			梅花養成所開所式															寺族研修会・総会								昭和の日		
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
MAY	梅花講習		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日		寺族会			梅花養成所（初・上）	梅花養成所（研修）	13教区大龍寺本葬								布教協議会				管区宗連						
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
6	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
JUN		梅花養成所（合同）				5教区桂園寺 晋山結制							4教区珠林寺晋山結制・邊董	18教区寶田寺晋山結制・邊董	梅花講習			教化センター50周年記念式典	講師等研修会		18教区森昌寺 晋山結制・退董			監査					護持会総会		
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
JUL			梅花講習			仏教講座①	梅花養成所（初・上）	梅花養成所（研修）							研修部研修①					海の日		所会						教化指導員研修会			
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
AUG																休務															
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
9	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
SEP	仏教講座②		梅花講習		5教区桐善寺晋山結制				梅花養成所（初・上）	梅花養成所（研修） 結制・退董	14教区禅林寺晋山				管区寺族研修会	秋田県梅花流奉詠大会				敬老の日	国民の休日	秋分の日									

友引 管区 宗務所 宗務庁 県内寺院

令和8年度(2026)

月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
OCT		梅花講習			野外研修		梅花養成所（初・上）	梅花養成所（研修）				スポーツの日				教化活動推進・企画委員会	14 教区龍雲寺 晋山結制				現職研修		3 教区瑞林寺 晋山結制				梅花検定・曹洞宗青年会東北大会				2 教区兼江院晋山結制・退量
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
11	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
NOV	2 教区兼江院晋山結制・退量	寺晋山結制	文化の日 16 教区深徳			梅花講習				梅花養成所（初・上）	梅花養成所（研修）	寺族研修会						本山研修				勤労感謝の日		禅を聞く会						全国人権 仏教講座	
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
DEC	全国人権			梅花講習			梅花養成所（合同）			臨時所会												管区宗連									休務

令和9年度(2026)

月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
JAN	元日				休務						成人の日											梅花役員会					梅花一泊研修会				
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
2	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
FAB			研修部研修②		梅花講習						建国記念の日												天皇誕生日			諮問委員会・災害対策委員会	梅花講長会				
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
3	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
MAR				梅花講習					梅花養成所(初・上)	梅花養成所(研修)					全国人権						春分の日	振替休日				所会					